

## No.1 特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク

申請部門	申請区分	申請額
スタンドアップ (定着支援)	間伐材の利活用促進事業	50万円
	資機材の購入	5.5万円

## 団体概要

設立年月	平成23年6月7日
会員数	12人
団体予算	平成31年度予算 76.2万円 (会費3.6万、事業収入17万、補助金等55.6万)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄キンタロウ学校事業 (環境教育・木育活動)</li> <li>・都市住民と協働の森づくり事業 (森林ボランティア活動)</li> <li>・山村集落との交流事業 (共同作業やお困り事のお手伝い活動など)</li> </ul>

## 申請概要【間伐材の利活用促進事業】

事業内容	<p>活動回数 8回、事業予算 66.7万円</p> <p>利用する材…主にスギと広葉樹 量…3m<sup>3</sup></p> <p>山北町の丹沢湖周辺の森林整備により生じた間伐材 (スギ、広葉樹) を利用して薪やグリーンウッドワークの暮らしのものづくり製作を行う。</p>
資機材の購入	足踏みろくろ 1台 5.5万

## 事前調査結果

申請要件への適合	適
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年度からの継続団体 (2年目)</li> <li>○事業実施は適切に行われている。(中間報告で確認)</li> <li>○昨年度に引き続き、外部から講師を招聘する予定であるが、事業内容が昨年度とは異なるため、招聘する必要があるとのこと。</li> </ul>

## 継続事業実施状況 (24年度以降)

【間伐材】	30年度申請
会員数	30人
活動回数	9回
参加者数	延べ60人
事業内容	椅子づくり、薪づくり、森の色えんぴつづくり
補助申請額 (補助確定額)	60.5万円
うち資機材	10.5万円 削り馬2台

事業計画書 【間伐材の利活用促進事業】

団体名	特定非営利活動法人足柄丹沢の郷ネットワーク
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業定着支援部門 <input type="checkbox"/> 市民事業高度化支援部門
事業名	暮らしのものづくりと森づくり事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昨年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください)
実施期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日 (計8回活動)
実施場所※	山北町三保地区
間伐の内容	材の種類 主にスギと広葉樹 搬出量 3 m <sup>3</sup>
参加者数(見込)	会員(10)人 会員外(19)人 計(29)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり)

※実施場所は、位置図・写真を添付すること。

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義、同補助金活用事業であることのPR方法などを具体的に記入してください。

人々が森の木を暮らしに活用しなくなって森林は荒廃し世代交代が図れていない状況にあります。手入れがされず荒廃してしまった森や溪畔林に入り除伐・間伐することで世代交代を促し森林循環を図りながら生物多様性のある森づくりを行います。同時に間伐した材を「薪」や「グリーンウッドワーク」の暮らしのものづくりに活用することで、水源林を手入れすることの大切さや温もりある木を使った暮らしやライフスタイルを提案することで間伐材の利用促進に繋げていくことを目的としています。

また、同補助金を活用して実施していることをPRするため、団体HPや募集チラシやのぼり旗に補助金を使った活動であることを明記します。

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、数値を入れるなどして具体的に記入してください。

山北町の丹沢湖周辺の手入れがされていない人工林のスギ・ヒノキや広葉樹の森林で、間伐等で発生した間伐材3m<sup>3</sup>を集材し搬出して薪やグリーンウッドワークの暮らしのものづくりを実施します。薪割やグリーンウッドワークのものづくりで制作したものを販売したりして、団体の自主財源の確保につなげていきます。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
スツールづくり	4月～3月(1回/2日間)	5人(延べ10人)	造材・加工作業・組立作業、座面張作業	7月～11月の土・日曜日で1回開催
薪づくり	4月～3月(5回)	延べ10人	間伐材の集材運搬作業・薪割作業	毎月1回(不定期)
器(お椀)づくり	4月～3月(1回)	延べ4人	造材、加工・成形作業	9月～11月の土曜日で1回開催

スプーンづくり	4月～3月 (1回)	延べ5人	間伐材の加工、成形作業	4月～8月の土曜日 もしくは日曜日に1 回開催
---------	------------	------	-------------	-------------------------------

(3) 水源環境の保全・再生への効果（アウトカム）

事業を実施することで、水源環境の保全・再生にもたらす効果があるか、現状と目指す姿に触れつつ具体的に記入してください。

今は使う機会が無くなった広葉樹等の雑木が、間伐されることで林内に明るい空間が出来、埋土種子や実生が成長し健全な森林の育成に第一歩になる。昭和40年ごろまで三保地区でも20年、30年という周期で広葉樹を間伐し薪炭を作り生物多様性を保ちながら健全な森林を育成し森と共に暮らしてきました。スギやヒノキばかりが注目を浴びがちですが、薪づくりやグリーンウッドワークのものづくりを通して広葉樹の森林の持っている生物多様性や水源環境の保全・再生に資する効果が期待できる。また森林資源の有効活用を図ることで地球温暖化防止とCO2削減の意識を高める効果も期待できる。グリーンウッドワークの暮らしのものづくりでは、人力で道具を操作し安全に楽しくものづくりが出来ることから女性や子どもたちなど新しい参加者が増えることが期待できるほか、ものづくりなどのワークショップや販売などを通じて森林整備の大切さについて県民への意識啓発に貢献できるとともに、団体の財政基盤を強化し、自立的な活動を進めることにも資すると考えている。

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

森づくり活動では、平成26年から山北町玄倉の民有林で森林整備を定例で月2回程実施し約100人程が参加し、現在も継続して取り組んでいます。グリーンウッドワークのモノづくり体験では、平成25年から横浜市や松田町で毎年子ども向けの木育木工体験を行っており、大人や保護者の方からも木に触れ森林について考える機会に大変好評を得ている。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
森林整備	平成27, 28, 30年度実施	述べ約150人	除伐, 間伐, 集材, 造材, 搬出	毎月第2, 4土曜日及び第一水曜日
グリーンウッドワーク講座	平成28, 29, 30年度実施。11回実施	述べ約80人	アールづくり, 指輪づくり, 森の色鉛筆づくり, 椅子づくり体験	

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに下記の視点から記入してください。

- ①市民事業定着支援部門 (将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。)
- ②市民事業高度化支援部門 (これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

【数年後の目標】 将来的には、森づくりと薪づくりとグリーンウッドワークのものづくりが大都市で暮らす人たちのライフワークと連動して動き出し、自主財源を確保しながら団体の自立した運営を図りたい。

【目標達成のためのアクション】 森づくりやグリーンウッドワークのワークショップに参加して技術レベルの向上を図るとともに、大人や子どもを対象とした木育木工活動の充実にも努めていく。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮（講習会の受講、安全装備、保険への加入など）や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

間伐作業ではヘルメットや安全装備を備え、作業前には服装や体調など問題がないかスタッフが確認を行い、問題があれば改善し休ませるなどの対応をとって、傷害保険にも加入して事業を実施する予定です。

【県民へのPR方法】

活動実施の際は、チラシやホームページ、SNSなどで一般参加を募るなどしていくが、その際、水源環境保全、再生施策の事業であることも併せて県民にPRを行っていくとともに、関係機関や地域の行事等の機会も活用し、活動の成果をPRしていく。